

播磨町健康増進計画及び食育推進計画策定委員会（第3回）議事録

開催日時	令和5年11月21日（木） 午後1時30分～午後3時30分
開催場所	播磨町役場 第2庁舎1会議室
出席委員	（11名）
事務局	（5名）
協議事項	（1）第3次はりま健康プランのためのアンケート調査結果報告 （2）第3次はりま健康プラン素案 （3）その他
会議資料	第3次はりま健康プラン計画素案 アンケート調査結果報告書 第3次はりま健康プランの作成のプロセス 播磨町健康増進計画及び食育推進計画策定委員会（第2回）議事録 委員会次第 健康日本21（第3次）の全体像 フレイル・サルコペニアロコモの違い はりま健康プラン（第3次）重点プロジェクト ライフステージ別の取組 調査結果の分析

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	1. 開会 2. 議題
会長	<p>皆さん、よろしくお願いいたします。早速ですが、まず議事がスムーズに進行できますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の議題に関しましては、事務局にまず調査結果と健康プランの素案と併せて説明頂いた後に、ご意見を頂ければと思います。</p> <p>それでは、議題（１）「第３次はりま健康プランのためのアンケート調査結果報告」、議題（２）「第３次はりま健康プラン素案」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	—資料を基に説明—
会長	<p>調査結果を踏まえて計画をつくられているため、どのようなところからでもご意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>素案の17ページで死因の悪性新生物の中で肺がんと胃がんが上位と書いてありますが、検診を受ければ早期発見とか早期治療につながる病気ではないかと思えます。この辺りで今の健康状態を知ることもしっかりしているのかなと思いました。検診の受診率を上げるとともに、健診後のことも書いて頂ければと思います。</p>
事務局	<p>受診勧奨のことは書いていますが、要精密検査になった人たちのフォローについては書いてないと思えます。確かに要精密検査になった人の全員にフォローができていないかということ、やはり連絡がつかない方や未把握になっている方もいたりするため、そこはしっかり追っていかないといけないというところは、事務局サイドでも課題として持っていました。素案に落とし込めていないと思ったため記載したいと思えます。</p>
委員	<p>検診の受診率について書いてありますが、素案の文章によると、男性の受診は女性よりも低い傾向となっていますが、グラフと反対だと思えます。</p>
事務局	<p>反対です。訂正します。</p>
委員	<p>そうすると、グラフの丸が女性で、三角は男性ということによる</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	しいですか。
事務局	文章が間違っていて、グラフの方が正しいと思います。
委員	男性の受診率の方が高いということですか。
事務局	もう1度データも確認します。
委員	おそらく企業で働いている男性が多いでしょうが、職場での検診の割合が高いことが要因かもしれません。
会長	他にご意見ありますか。
委員	とびっきり遊歩の参加の状況の関係で、以前から少し考えていたことがあり、年に1回どこかの公園でラジオ体操をすればよいと思います。遠いところでなく、近くの公園で集まって実践するというようなことを考えてもよいと思います。長い時間歩くのは無駄ではないとは思いますが、時間もかかるため、みんなで楽しめる活動が広がっていければよいと思っています。
会長	ラジオ体操以外にも町には色々な活動があるのではないのでしょうか。
委員	百歳体操があります。
委員	色々な世代の人が集まってできるような運動があるとよいと思います。
委員	骨密度が少なくなった時に病院の先生から最低10分日に当たって下さいと言われました。無理しなくてもよい取組があるとよいと思います。歩く等ではなくても、外に出て日に当たる機会が1日5分であれば2回にしてもらえばよいと思います。
委員	最初の方に戻りますが、32ページの達成状況の評価について、これは達成されたものがパーセントで出ていますが、この結果を事務局はどのように考えていますか。想定内だったのか、達成しようとして目標を作ったけど達成できなかったのか、そのあたりの説明を頂きたいです。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
会長	次の計画を立てる時にも今おっしゃったことは大事になります。
事務局	<p>実際は達成可能なものを設定しているが、なかなか達成ができていないというものもあります。ただ特定検診の受診率については、国が定めてるパーセンテージを定めていますが、他の細かなアンケートの部分の目標は、事務局で目標達成ができるような値にしているため、本来であれば達成していきたいところではあります。ただ、歩数の目標は、確かに9000歩7000歩というのは、実際からすると多いとは思いますが、おそらく、これによって生活習慣病の予防につながるため、生活習慣予防であれば8000歩と言われていることを加味して設定したのだとは思っていますが、現実的には難しいと思っています。</p>
委員	<p>目標の設定の仕方が何種類もあるということですが、例えば60パーセントという目標を立ててこれを達成するために国でもアクションをしていると思いますが、町としてどの部分に取り組まなければならないかを検討したり、第2次計画を実施している中で国の施策がおかしいのではないかという結果なのか、そのあたりを分析する必要があります。先ほど目標設定の仕方について意見を聞きたいというお話がありましたが、目標設定というのは基本の部分になるため、チャレンジ目標はチャレンジでもいいですが、その設定の仕方をしっかり捉えておかなければ評価ができなくなってしまいます。今回、第3次のプランを立てるにあたり、ぜひそれを念頭に置いた上で立てて頂きたいと思っています。</p> <p>この第2次計画の評価をどうするかというのは非常に難しいです。達成できると思いつながらできなかったという点については、やはり分析をしないとイケません。そして、第3次計画で同じ項目を上げるのであればどのようにアクションをするか、あるいは設定をもっと下げるのか、そのあたりを検討する必要があります。評価の記載で目についたところで33ページに運動習慣がある人の増加という目標があります。小中学生は、全部二重丸ですが、20歳以上と60歳の方は良くない結果になっています。これがどう違うのかということを考えなければなりません。これはアンケート調査なので、誘導質問をすればこのような回答になりますが、この要因が何かということは、1つの事例として必要だと思います。その上で新しい第3次計画を立てるにあたってどうするかということにつながっていくと思います。プラン、チェック、アクションと書いてあ</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>りましたが、チェックとアクションというのはすごく大事であり、それなくして計画はありません。ぜひそこを見て頂きたいと思います。今日報告ができないようでしたら、ぜひそれ踏まえて、次の計画の目標値をよく見て頂きたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。計画については内容の部分を中心に検討して、数値目標についてはどのように考えるべきか検討しています。</p>
委員	<p>すごく細かく書いてるということは、ただ数値を変えるだけでなく、それだけアクションを細かくしないと達成できません。書けないのであれば、例えば増加や現状維持で十分です。数字を書くアクションを取っていかねばなりません。できないことでも書いておけばいいというレベルだったら、このプランのレベルが下がってしまいます。</p>
会長	<p>事務局でまた検討して頂くということによろしいですか。</p>
事務局	<p>どうしたらよいか悩むところですが、傾向を見ていくと、前年度よりも増加、前年度よりも増加とあって少しずつ6年間積み上げていくと上がっていくため、それを目標としていく方がいいのか事務局でも検討したいと思います。</p>
委員	<p>この会議が始まる前に話をしましたが、大阪みたいな大きな市であれば、ものすごい人数で取り組むため、目標を細かく分けてもよいですが、やはり播磨町という小さな自治体なので、全部挙げるのではなく重点を置くなどのメリハリつけないといけないと思います。できないことまで書いて、風呂敷を広げても、後で結果について何も分析ができないため、ぜひ町民のためになることを考えて頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>そういう意味では、先ほどお話のあったラジオ体操をやる、外に出るといった敷居の低いところから参加しやすいようなものの方が良いと思っています。すごいヒントを頂いたので、播磨町では近くの小さい公園に行ってみんなで楽しみながら運動するといった内容をしっかり目標に落とし込んでいくと計画が出来上がってくると思います。</p>
委員	<p>ぜひお願いします。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>ラジオ体操でもリーダーがしっかりした人がいなければ、停滞してしまいます。何をとって地域をつながりが大事です。それを重点的にするためにリーダーが活躍することが大事です。情報の収集をしないと、やっているという情報は入ってきません。地域によっては秋祭等の行事があれば、それを中心に人も集まってきます。そういった話し合う場所は、これからだんだんと少なくなってきます。特に播磨町は、この傾向が非常に強いです。隣の家の人が亡くなっても気付かなくなってしまいます。そういった地域をつなかりをこれから大事にしていかなければなりません。</p>
事務局	<p>今おっしゃったようなことは、今、地域福祉計画という初めての計画を立てていますが、そこで同じキーワードが出ています。つながりや情報が行き渡らない、やっているの知らないから行けないという話が出たり、情報の格差もあります。また、そういったことについて話をする場所にリーダーがいないということも課題として上がってきています。そのあたりの話はどの計画、施策においても出てくることだと思っているため、個別の計画の1番上にある地域福祉計画の方でやっていかないといけないことと思っています。各個別計画については、それぞれの特化した計画、具体的などころになってくると思います。しかし、今おっしゃったことは永遠の課題で、差し迫った課題でもあるので、どのように具体的に何をアクションしていけばよいかをすごく悩んでいます。</p>
委員	<p>59 ページの数値目標の中で健康寿命の延伸について、寿命を1年延伸というのが目標値として挙がっています。これは会議前にも話しましたが、数値目標としては、金銭的な目標を1つぐらいは入れてほしいと思います。介護保険料は播磨町独自の範囲で決まるという話を聞きました。健康になれば、介護保険料の総額が減ります。つまりは播磨町が払う額が減り、町民が負担する介護保険料も減ることになります。こういったことを1つぐらいは目標として入れてほしいと思います。13 ページにこれに関するデータが出ていますが、介護保険料というのは介護が必要な期間が短い方が当然安くなります。播磨町は、男性が41位中11位、女性が19位とかなり上位にいます。これは非常にいいことだと思いますが、これこそチャレンジ目標として県下トップを目指すというような目標を1つぐらいは書いてほしいと思います。他はもう現状維持でもよいです。やはりメリハリをつけるとしたら、こういうところでチャレン</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
会長	<p>ジ目標として設定し、難しいかもしれませんがトップを目指すと言えばよいと思います。そういった目標を置いてもらった上で、それに向かって何をするのかを設定し、評価すればよいと思います。私はいつも自治会の活動に参加しますが、百歳体操の参加者が増えるのであれば行政はどういった支援をしてくれるのか等、支援についてもメリハリをつけてやって頂きたいと思います。百歳体操については全国的にやられているため、近隣市よりも上だというようなことを何か置いてほしいなと思います。</p> <p>よいところはよいところとして伸ばすということで目標を設定して頂ければと思います。それについて事務局は何かありますか。</p>
事務局	<p>食育推進計画も特にそうですが、数値的などころではかなり悩みがあります。今おっしゃったチャレンジ目標があってもいいんじゃないかという話を前向きに受け止めたいというところです。健康寿命の延伸と介護が必要な期間をどう短くしていくのかという部分については、現在見直し中の介護保険事業計画や高齢者福祉計画でより具体的なアプローチ方法も含めて計画が出ているため、リンクする形で数値を設定するなど、この計画で知恵を絞ってつくるというよりも、他計画で出した数字を拾い、健康ともリンクするという形にすると馴染むと思います。</p>
事務局	<p>食育推進計画でアンケート調査結果とも照らし合わせて頭を悩ませていました。1つの項目に、いわゆる減塩を心がけているかどうかという項目があり、せっかく健康増進のアンケートとも一緒に取っているため、何か有意な連携が図れるのかというところを見ましたが、結論から言うとわかりませんでした。減塩を心がけている、いわゆる一般的に健康意識が高い方というのは、当然、歯の治療も良くされるということは数字として上がっており、使えそうだと思いますが、その内訳をよく見ると高齢層の方の歯を治療している割合が高いだけで、若い層は低くなっており、介護保険事業計画を立てている保険課に聞きに行くとやはり年齢の特性であり、減塩に関する特性ではないということでした。そこで頂いた意見としては、高齢層になればなるほど健康意識は基本的に高まるため、歯の治療も当然受ける率が高くなり、減塩を心がける率が高くなるという、ごくごく一般論の話が出てきました。食育推進計画では若いうちから正しい食生活を身につけよう、若いうちからこういうことを考えようということばかり謳っていますが、食育というテーマに限</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>っては、若いうちから取り組まないと年を取ってから健康を意識しても効果が薄くなるということは、他の課からも言われるようなことです。結局のところ、他の部署と連携して顔を突き合わせても、一般論的なことしかわからなかったため、数値的な目標や具体的な取り組みを落とし込んで、それがどこまで効果を上げるのかが正直見えなかったため、具体的な数値として目標が落とし込めませんでした。全部さらけ出した形になりますが、数値目標を設定するのが非常に難しく、今もなお頭を悩ませてるところです。</p> <p>歯の健康について言えば、高齢者の歯というのはものすごく大事です。私も入れ歯がかなりありますが、お金は高いですがインプラントを3本入れています。これが全然違います。ものが食べられるということは健康そのものです。歯が悪くなってくるのは、やはり60歳を過ぎてからであるため、健康寿命に直接関係してくると思います。他の市町はどうかわかりませんが、例えば播磨町は歯の治療に補助金を出すことにして、費用対効果を計算し、費用をこれだけつぎ込むということとこれだけの効果があるという3点を示すことができれば実行可能です。費用より効果が少なければ、調べたけれども駄目だったという話になりますが、そこまではやってほしいという気がします。国の健康増進計画で生活習慣病予防というものがありますがこれは費用対効果の計算がされています。国なので、税金をつぎ込んで予算委員会を通すわけですが、その予算委員会を通すために費用対効果を計算しています。その上で効果ありという答えを出し、全国展開で税金を使って生活習慣病の予防に取り組んでいます。税金を使う以上は費用対効果というのは絶対必要です。例えば話をしましたが、他の市町ではやっていないが播磨町では補助金を出しており、こういう効果があるという話ができれば素晴らしいと思います。ホームページに広報を出すだけというのは、あまり費用かかりませんが、効果は薄いと思います。</p>
事務局	<p>おっしゃるように、播磨町は歯の中でも若い人の検診が少ないというところで、30歳の検診にお金を出しましょうというところを他の市町ではやっていませんが実施しています。課題をクリアするために施策を実施していますが、これだけの効果があるという計算をするのはとても難しいと思います。しかし、取組をやっていけば結果は出てくるため、それを見てもっと上げなければならないということにはなると思います。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>30歳の取組で結果が出るのは35年後になるため、予測値でしかありませんが、関係する学術資料が探せば出てくると思います。直接調査するのではなく、資料を集めるという形で予測値は立てられるのではないかと思います。精度はわかりませんが、何らかの資料はあると思います。医療関係の委員も来られているため、資料の探し方を聞かれたらよいと思います。</p>
委員	<p>30歳に関しては、資料が出ないと思います。他の市町でやっていない取組を実施しているため、資料としても昨年度のもののみになるため、もう少し待たなければなりません。</p>
委員	<p>全国資料でも外国の論文でも今の時代なので検索すれば資料は取れると思います。</p>
会長	<p>治療や薬等については効果がきちんとありますが、この健康に関することで効果を図るのはかなり難しいと思います。健診と高齢者の健康との関係は出てくるとは思いますが、効果やこれだけの費用を出して検診を受ければこういった結果が出るという部分までは文献的には難しいです。医療に関することはしっかり情報が出てきますが、どのような対応をしてどのような効果があったかということについては探すのが難しいと思います。</p>
委員	<p>健康に関する話は個人の生活に依存しており、個人がどのように生きるかによって、全体の結果が出てきます。統計で数値が出るため、健康増進しましょうというのはとても良いことですが、具体的にあなたの食生活はダメなのでこういう風に変えなさいと言うことはできません。よい食材がとても安く手に入るためこれを皆さん食べてくださいといった誘導は可能かもしれませんが、実際にやるのは難しく、そういった食材を用意することも難しいです。とても難しい内容を我々は今、与えられていると感じています。それでもやる以上は結果として効果があったのか、なかったのかという数値で表現できるような指標があればとてもよいです。国や県の指標についても、ただ目標を掲げるという形だけで済ますのではなく、数値を出して結果を示しなさいというような形の指針が出ていると推測しています。しかし、全ての項目を数値で表すことは無理であり、出そうとすると無理やりつくった数値でしか表すことができないはずです。そのため、本当に数値として表せるものについては数値を出し、数値を出しづらいものは、こういう理由で数値を出せなかつ</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>たという説明をした上で、プラスやマイナスという表現にするのでよいと思います。</p> <p>具体例として、減塩という言葉が出ましたが、減塩が本当によいことなのかというのを私は常々疑問に思っています。おそらく、毎日の食生活で、とても塩辛いものを食べても、そのほとんどは体の外に出てしまいます。しかし昔の長野県の住民のように毎日のように繰り返して塩を多量に摂取すれば、塩分の取りすぎという問題が地域全体としても出てくるのだと思います。今はそんなことはないだろうと感じています。</p> <p>減塩と言いながら、夏になったら塩分を取りましょう、塩が足りないと熱中症になりますよと言います。うまく使い分ける必要がありますが、どのようにしていけばよいかをあまり誰も知りません。この会議内容としては、そのような状態ではまずいと思います。塩と同時に油についても同じです。例えば焼肉をするときに油が全部落とせるからヘルシーですといったコマーシャルがよく見られますが、一方で、油を取らないとダメですという話もあります。世の中では矛盾することが平気であり、どちらが正しいのかは誰も何も言ってくれません。そのため、健康増進や食育という内容については、言葉遣いもとても難しく、大変な会議だというのが素直な気持ちですが、その上でできることをしていくというのはなんだろうと感じています。</p> <p>今おっしゃったことはまさにそうだなという話であり、食育推進計画をつくるにあたって国の食育推進基本計画を確認すると、似たようなことが書かれています。播磨町でも最初の基本方針の自主性や情報発信というのを優先しようとした理由はそこにあります。国も食育推進基本計画でライフステージやライフスタイルは多様であり、それぞれによって取り得る選択は違うと認めています。その中で、一般論としての傾向や数字を示し、より健康志向とされる生活というものを示していますが、諸説あると思います。色々なことに対して自分がどのような選択をしてQOLの高い生活につなげていくのかが食育や健康増進の根底にはあると思います。ご自身が健康寿命を伸ばすという観点も取り入れながら、ご自身で納得された人生をどのように歩んでいただくのかというところをこの計画や他の計画も含めて住民の1人1人に受け取って頂き、それぞれの活動につなげていければ、おそらくこの計画を策定頂いたあるいは皆さんに議論頂いた意義が深まると感じたところです。そこまでをこの計画で表現しきるのは無理だとは思いますが、何がなんでも健康な生</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>活をなさいと言いたいわけではなく、その一端でもその人にとって健康と思われる活動やまずいという1つのバロメーターにこういった計画を使っただけであればよいと思います。そういった部分を感じ取ってもらえると計画としての意義があると思います。そのあたりがこの計画の落としどころなのだと思いますが、皆様のご意見をもう少し聞いてみたいと感じました。</p> <p>油でも色々です。私も健康オタクではありませんが、オリーブオイルや米油を使用したり、バターはマーガリンを使わずにグラスフェッドを使用したりしています。今は外食がすごく発達していますが、私たちが小さい頃はマクドナルドもなかったと思います。外食をすると、塩分や油が多く、何を使ってるかもわからないと思います。忙しいなどの理由は色々ありますが、外食が5回のところを3回にしようといったことを自分たちで心がけて勉強しないといけません。今の時代は情報が溢れており、塩がよいと言ったりそうでないと言ったりします。オリーブオイルやバターにしても色々なものがあつたりします。自分でもバターの無塩と有塩を使い分けていますが、色々な情報を町民の皆さんに知って頂きたいなと思います。子ども達の将来を見据えるとそう思います。子どもたちの体を形成するという意味でも子どもたちの食育はすごく大事だと思います。</p> <p>外食産業が流行っており、ありとあらゆるものがあります。今は柔らかいものが多いです。自分たちの小さいころを思うとものをしっかり噛むと顎が発達します。今の子どもたちにもなるべくものを噛むようには言っていますが、給食でも食べるものが柔らかいものが多いと思います。将来ものをしっかり噛むことができるように今からものをしっかり噛んでほしいと思います。</p>
委員	<p>この素案を見て、このぐらいの感じで私は個人的にはいいと思います。これを基に播磨町に住んでいるできるだけ多くの人に伝える手段があるとよいです。播磨町は健康増進を目指しており、皆様の個人個人の健康増進を目指していますという言葉が皆さんに届くような広報やホームページ等の手段で発信することで、そうなんだと思った人がどんどん情報を知ることができるとよいです。ホームページにアクセスできない人も多いかもかもしれませんが、他になかなかいい手段がありません。チラシを作っても、お金がかかり、配布の労力もすごく大変ですが、伝わることはほとんどありません。しかし、ホームページであればすぐ簡単につくって見たいと思う人には</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
会長	<p>伝わります。この計画がどのような内容であるかがわかるページを作ってほしいです。なるべく早い時期にやって頂けるとこの会議をした意味があり、もしかしたら住民の行動も変わるかもしれません。</p> <p>まとめとしてすごく良い意見を頂いたと思います。皆さんから色々ご意見が出ましたが、例えばタバコの問題等についてはしっかり数字を合わせて検討していければと思います。一方で個人の意識をどう高めるかというところでは、今おっしゃった情報等は大事だと思いますが、いかがですか。</p>
事務局	<p>皆さんのおっしゃる通りで、今検討しているのがホームページもそうですが、コロナを機に高齢者でもLINEを登録されている方がいるため、そこと連動して健康増進をPRできないのかという話をしています。できるだけそこからアクセスして、情報を得ることができたり、必要な人に必要な情報が届くように連動していければよいと思います。そういったLINEを使った情報発信できたらよいと思っています。</p>
委員	<p>とてもよいと思います。リンクでホームページに飛んでいくという形にすれば伝わります。</p>
委員	<p>各家庭の健康に関するもので体重計や体温計等に加えて、血圧が少し高めの人に血圧計を与えて1月に1回報告するようにすればよいと思います。</p>
委員	<p>まずは健診を受けてもらった上で、必要な人が自分で買えばよいと思います。</p>
委員	<p>どこかで見ましたが、他町の健康づくりで血圧機器を支給して毎日チェックし、それを報告するというものがありました。</p>
委員	<p>血圧測定の結果は、飛ばそうと思えばオンラインで全部飛ばせます。しかし、しっかりと測る人と測らない人は大体分かれてきますし、測らない人は機器を設置していても測りません。あとは測った結果をどうつなげるかという問題です。測った結果を見て病院に行くかは本人次第になりますが、病院に行くような人は、一度健診を受けて血圧が高いので病院に行きなさいと言えぱきちんと行かれま</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>す。行かない人はやはり病院には行きません。どこまで効果があるかと言われると、健診の受診勧奨をして行くのか行かないのかというところで決まってくると思います。</p> <p>人間は不思議なものでものをもらったり、与えないとやりません。クーポンでもメリットがあるからやっています。血圧に疑わしい人は行政で把握できるため、その人に血圧計を渡して報告してもらえればよいと思います。</p>
委員	<p>私は無料で支給されたものは皆あんまり使わずに自分で買ったものはしっかりやるのではないかと思います。もしくは、しっかり測った人には、測った分のお金がありますということであればよいですが、全員にそれをしてしまうのは無理だと思います。</p>
委員	<p>そういったきっかけを与えるというのも1つの手だと思います。家であれば体温や体重ぐらい測りますが、他に何かをできることを考えると、血圧ぐらいだと思います。</p>
委員	<p>検診を受けるところにどうやって誘導するかということが大事だと思います。国としては病気の人を減らすということに加えて、病気になると、お金がかかり、介護の人もお金がかかるため、そういった人をいかにして減らすかということを考えています。このデータも統計として出ていますが、個人の集合のデータであり、個人が頑張ってくれなければいくら行政が頑張っても変わりません。個人が頑張ってもらえるようにするための取組をやっていかなければなりません。1番簡単にお金がかからずに効果が高まるのは、小学生や中学生の教育だと思います。そこにお金をかけて取組を進めていくと、50年経たないと結果は出ませんが、小学校でタバコの教育をすることで、タバコを吸わない子どもはどんどん増えてきているのは確かな話であり、小さい頃からの教育という方法が最後に病気にならずに亡くなっていく状態を作っていくためには必要だと思います。</p>
委員	<p>住民に刺激を与えるために、播磨町ではこういう取組をやっているということを発信すれば健康づくりのきっかけになると思います。小学校からやらないといけないのは間違いありませんが、自分の歳になると、そこまで健康づくりの取組をしなくなってしまいます。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>食育推進計画でこのような食生活をしてくださいという内容を給食に反映してもらうことは可能でしょうか。具体的なメニューまではここでは作りませんが、こういった考え方で子どもたちの給食の内容を調整してくださいというような形で反映してもらえるとよいです。また、もしつくる側の方がお金の余裕がないという話であれば、必要なお金はつぎ込むというような形をとり、具体的に毎日の学校での食生活を通して食育の質を上げるということを検討してもよい気がします。</p>
事務局	<p>播磨町は他の町と比べても給食にはかなり公費を投入しており、我々のPR不足ではありますが、かなり力が入っているという自負はあります。おっしゃったように、地産地消等は食育の分野では頻繁に謳われますが、学校給食ではそういった内容を取り入れており、伝統食や行事食も学校給食で取り組んでいるということが多分にあります。そういったところももっとPRしていけばよいと思います。スタンダードになっており、そこまでPRすることではないという意識が過去からあった可能性があります。実際に他市町から来られた方や他市町の職員とやり取りをする中で、播磨町は力が入っているという話が出るようなコンテンツです。職員の目では今まで通りやっていることであるためそこまでということでも、対外的には取組をされているということがあるため、そういった内容を食育推進計画でメインに据えている情報発信で力をもっと入れるべきと思います。</p>
委員	<p>直接子どもたちには、この食事はこういう食事なんですよという情報を伝えることができれば、50年先の話にもつながり、その子どもたちが大きくなった時に当たり前のように給食を通した食生活が良いものであり、そこまで待つ必要はありませんが、そのような食生活を大人になっても続けていく流れがもしできるのであれば、それほど素晴らしいことはないです。そういった方面でもできることがあれば、この会議の中で触れておいてもよい気がします。</p>
委員	<p>前にも言いましたが、甥っ子が播磨町に住む子どもの給食のメニューを見た時に、給食のメニューが美味しいものが多いため、播磨町に引っ越したいと言っていました。他の子どもでも、播磨町のメニューでカレーライスがあるのがよいということなので話を聞くと、ある地区ではカレーがなく、おにぎりのようなものとカレース</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>ープが給食に出るということでした。息子が小学校に入ってしばらくしてから給食が麦飯になりました。最初のごはんもありました。それが週に何回か麦飯になり、その後ずっと麦飯になった時に息子は自分が美味しいものを食べていると言っていました。だから息子たちはその美味しいもので育っています。やはり管理者さんがいるためしっかりと栄養のことを計算されると思うので胸を張って堂々と言ってもらったらいと思います。それも播磨町の一つの売りだと思います。値段が高い時に給食にびわが出るなど、そういったものが給食にちゃんと入っていたりします。そのため、私は播磨町がいいなと思います。</p> <p>学校給食でも食育に取り組んでいるということは、子どもたちにも教育の一環として、栄養教諭が授業の中での流通の説明をする際に使ったり、給食を教材として教育をしたりはしています。そういったことに力を入れているということをPRしていくのが大事だと思います。</p>
委員	<p>当たり前ではないと思うので、PRしたらよいと思います。</p>
委員	<p>先日、ホームページから11月の小学校の給食のメニューを1か月分見せて頂きましたが、本当にバランスがよく、米飯の方が多かったという印象はあります。それに色々なメニューがあり、すごいと思いました。ただ1つ、米粉パンというのを入れてほしいという声もちらほらあります。周りの市町では取り入れているようです。播磨町でお聞きするとまだされてないということなので、色々なアレルギーを持っているお子さんがいらっしゃるため、米粉パン等も入れて頂いたらよいという声もお聞きしました。</p>
会長	<p>皆さん方には、色々と具体的なご意見頂きました。今後の会議でもさらに具体的に検討していかなければなりません、言いたかったご意見がまだ言えてないという方は、後で事務局に届けていただければと思います。会議の時間もあるためご意見を終了させて頂きたいと思います。次にその他について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題（3）その他 3. 閉会</p>